

かけはし

沖代小学校だより 第6号

平成28年10月 発行

文責：栗田 英代

<http://syou.oita-ed.jp/nakatu/okidai>

体験・見学学習の秋

大成功のうちに運動会が終わり、運動会で培った「やりぬく力」を学習に発揮する季節になりました。10月は、どの学年も、社会科や生活科と関連した体験・見学学習が目白押しです。

1年生は、天仲寺公園で木の葉やドングリなどの木の実を採集し、生活科の「秋みつけ」をします。2年生は、生活科「まちたんけん」で、鍋島公園や、郵便局や図書館など身近にある公共施設の学習をします。3年生は、社会科「ものを育てたり作ったりしている人たちの思い」で、TOTO中津工場で働いている人たちの仕事や工夫を学びます。4年生は、社会科で学んだ水・ごみ・下水など、私たちの生活になくてはならない施設について、耶馬溪ダム・クリーンプラザ・終末処理場に行って学びます。5年生は、社会科で学んだ、日本の工業生産の現状や特色、役割についてダイハツ九州・新日鐵住金で学びます。6年生は、総合的な学習「中津の歴史に学ぼう」で、中津城、福沢旧居・記念館、合元寺、村上・大江医家史料館等、グループ毎にボランティアガイドさんと回って、まちなみ歴史探検をします。



また、13日(木)には、大分県立文化芸術短期大学の卒業生の方を中心とした文化キャラバンをお呼びし、すばらしいピアノ・トロンボーン・クラリネット・ソプラノの演奏を聴きました。百聞は一見に如かず、五感を使ってしっかり学んでいきます。

人権講演会がありました

フリーアナウンサーの松本久美子さんを講師にお招きし「傷つける言葉、勇気づける言葉」という演題で、高学年児童も保護者と共に聴きました。子育て編では、次のようなお話が印象的でした。



「子どもは、親を通して社会での自分の立ち位置を決めていく。親の返答＝社会の返答と思込み、親の言葉から、「よい、だめ」を学ぶ。それは『思いぐせ』となって、その子の人生に、後々とても影響してくる。思いぐせは、9才までに固まってしまうので、せめて子どもが9才になるまでは、否定せず、勇気づける前向きな言葉を使うようにしたい」

「言葉は心を育てる食材。耳から入って心にたまり、その子の魂となっていく」「子どもは、誰か守ってくれる人がいないと不安だから、親は、それを言葉やハグでちゃんと伝えることが大切。ただ、いつもいつもでは、それがないと不安な依存症になってしまう。『何かあったら、お母さんがいるから大丈夫』と言って、学校という社会に送り出したい」

「ほめるところを、勘違いしないように。『菌』だらけの社会のなかで、親がいつも、いつまでも、守ってやる、ほめてやることはできない。『矢が飛んでくることから守ってやる』のではなく『矢が飛んできたならどうするか』を教えてやってほしい。勇気を出して一人で言えたことを『すばらしいね』とほめてほしい」



聴いていて、最近よく耳にする「レジリエンス」という言葉を思い出しました。ポジティブでしなやかで折れない心、失敗や挫折を経験してもその経験を糧に回復する力といわれています。東日本大震災を機に、日本人のレジリエンス力が世界で驚異的に注目されているとか。勇気づける言葉かけなどで、自尊心、自己効力感、楽観性、感情のコントロールの向上を繰り返すことによって、強くなっていくのだそうです。参考までに！

みんなが気持ちよく学校生活を送るための機械（マシーン）が沖代小学校にできました。

その名も、あすなろ装置！！



「あすなろ」とは、・・・

「あすこそ〇〇ができるようになりたいな」

「あすこそ、〇〇になったらいいな」

「今日は失敗したけど、あすこそ〇〇になろう」

と子どもたちが考えること。では、〇〇に入るものは何か・・・

	あ	いさつを元気よくしよう
トイレの	す	りっぱをそろえよう
	な	ふだをつけよう
	ろ	うかは静かに右側を歩こう
	そ	うじは時間いっぱい頑張ろう
きれいな	う	わぐつをはこう
	ち	タイムの合図を守ろう

この7つのことがあたりまえにできるようになると、きっとみんなが気持ちよく生活できる学校になります。しかし、この装置のスイッチは、大人には操作できません。なぜなら、スイッチの一つひとつは、子どもたちの心の中にあるからです。いつもスイッチONの子どもたちになればいいなと思っています。

すべての子どもたちが、「あすなろ装置」のことを知っています。

スリッパをそろえない子どもがいたら聞いてみて下さい。あすなろ装置の「す」は何だったかな？あいさつができない子どもがいたら聞いてみて下さい。あすなろ装置の「あ」は、何だったかな？

ステキな学校をみんなで作っていきます。これからの子どもたちに期待して下さい。